

令和2年度 さいたま市立大久保小学校 学校関係者評価書

さいたま市立大久保小学校
学校関係者評価委員長 田中 智康

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

8名

(2) 実施回数

3回

- ・令和2年 6月25日(木) 令和2年度大久保小学校の教育説明
(紙面での開催) 令和2年度いじめ防止基本方針説明
令和2年度の取り組み、行事説明
- ・令和2年11月16日(月) 令和2年度の活動方針説明
活動報告
- ・令和3年2月 15日(月) 学校評価アンケート、学校自己評価の報告
(紙面での開催) 令和2年度の取り組み、行事報告

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- ・各教室に消毒液を設置して子どもたちが自分で消毒できるようにしたり、放課後に教室の消毒作業などを行ったりして、感染症対策に力を入れている。
- ・学校評価アンケートで学校生活が楽しい、授業が楽しいと感じている児童が多い。継続して教育活動を行って欲しい。
- ・児童数が減少傾向にあるが、少ない人数であることを生かして児童にとってきめ細かい指導を行って欲しい。
- ・学校行事、地域の行事などなかなか行えない状況であったが、学校と地域の繋がりが強くなるとよい。

学校関係者評価を受けた学校の対応

- 校内での消毒や毎日の健康観察を継続して行い、児童にとって安心・安全な学校づくりに努めていく。また、授業での話し合い活動の在り方など授業内容そのものにも配慮し、教育活動を行っていく。
- 児童一人一人をよく観察し、声をかけ、児童にとって居心地の良い学校・学級づくりに努めていく。学習については、さいたま市 GIGA スクール構想により一人一台のタブレット PC 環境が実現することもあり、児童の関心を高め、より自主性を伸ばせるような教育を模索していく。
- 少人数校であることを強みとし、複数の教員・スクールアシスタントによる個に応じた授業の実施、他学年との交流など力を入れて取り組んでいく。
- 地域で開催される行事について児童に伝え、学校での行事や児童の活躍も保護者・地域に発信できるように努める。